

NCCU NEWS

埼玉支部のみなさんへ

埼玉 第16号

2026年7月24日発行

UA ゼンセン日本介護クラフトユニオン

発行人 埼玉支部長 柴崎森夫

編集人 東北・北関東総支部常任 溝口雅順

連絡先 担当 溝口 TEL:03-5730-9381

FAX:03-5730-9382

7月24日（金）UAZ埼玉県支部とNCCU埼玉支部は、
介護職員に対する、安全対策施策の

要望書を川越市長に提出！

ここでも埼玉支部委員らの意見が反映！



左から、柴崎支部長。大引ケアマネ（地元）。片野議長。中嶋副支部長。森田市長。内川 UAZ 埼玉県支部次長。
橘総支部長と溝口。今回、片野組織内議員の働きかけでこの場が実現できました。

国は複数訪問費用への補助。県はケアマネージャーへの安全対策費を2026年度補正予算に盛り込むとしたが、本件は川越市の地域包括ケアシステム、官民連携での、事故・事件を未然に防ぐことを重点とした3つの内容であるが、要望項目の補足説明として、
①役所⇄現場間の困難ケースの相互共有と協働。②現場の「今」を監視し即応できる体制の構築。その為の③「市によるICT機器の装備と支援」④「複数訪問への外部人員の提供と配置」の必要性を付け加え、森田市長に申し伝えた。

令和8年7月24日

川越市長
森田 初恵 様UAゼンセン埼玉県支部
支部長 楠本 敏久日本介護クラフトユニオン北関東総支部
総支部長 橋 栄次郎

複数訪問費用補助制度および ICT 機器導入支援に関する要望書

平素より市民福祉の向上にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、私たち介護現場に従事する者は、地域の高齢者の生活を支えるため日々業務に取り組んでおりますが、利用者や家族からの暴言・暴力、ハラスメント行為、認知症症状による突発的な行動など、単独訪問時の安全確保が大きな課題となっております。

埼玉県は2022年11月に複数訪問費用補助制度を創設しました。川口市での事件後、大野知事が国へ制度の改善を求めることを表明し、国は6月3日、ケアマネジャーの複数人訪問も国の補助対象に含むことを明確にし、自治体へ安全確保の徹底を通知しました。しかし、国や自治体が推進する複数訪問は、そもそも人員不足により複数訪問の人員確保が困難で利用率が上がらないなどの課題もあり、ICT 機器を活用した安全確保策も同時に進める必要があると考えます。

以上のことから川越市におかれまして以下の施策をご検討いただきたく、要望いたします。

1. ウェアラブルカメラ・録音機の貸与制度の創設
 - ・市が機器を購入し、事業所へ貸し出す仕組み
 - ・プライバシー保護に配慮した運用ガイドラインの整備
2. ICT 機器購入費への補助制度の新設
 - ・ウェアラブルカメラ、録音機、緊急通報デバイス等の購入費補助
 - ・中小規模事業所でも導入しやすい補助率の設定
3. 介護職員・ケアマネジャーの安全対策に関する市独自の支援策の構築
 - ・単独訪問時のリスク評価ツールの導入

介護職員・ケアマネジャーの安全が確保されなければ、地域包括ケアシステムの維持は困難です。現場の負担を軽減し、安心して働ける環境を整えることは、結果として市民への介護サービスの質向上にもつながります。川越市におかれましては、現場の声を踏まえ、上記施策のご検討を賜りますようお願い申し上げます。

東北・北関東総支部行き：FAX03-5730-9382**NCCUニュース****『介護職員に対する安全対策施策の要望書提出』****みなさんのご意見をお聞かせください。**

勤務先(事業所名):	職種:	氏名:

※上記意見欄の個人情報は組合の活動にのみ利用することとします。

(本人の了解なく会社に開示することはありません)

■ご相談やご質問などは、NCCU 東北・北関東総支部まで直接ご連絡ください。

フリーダイヤル 総合 0120-519-931 / TEL03-5730-9381(平日 9:30~17:00) / FAX03-5730-9382

NCCU ニュースの組合員意見欄に記載された個人情報の取扱いについて(簡易型)

私は NCCU ニュースの組合員意見欄に記載した個人情報の取り扱いについて、『NCCU の個人情報保護方針・個人情報の取扱い(NCCU ホームページに記載)』に同意します。